

第8期 日韓理工系学部予備教育コース

村上京子

第8期日韓理工系学部予備教育コースは、平成19年10月9日から20年3月3日までの6か月（実質18週）間、5名の学生を対象に開講された。このコースは、工学部入学後、勉強や生活に支障のないように、日本語運用および専門基礎能力を養成するために行われるもので、日本語に関しては、日常生活に必要な会話練習のほか、科学読み物を読む、レポートを書く、講義形式のまとまりのある話を聴く等の練習が行われる。また、全学教養科目「留学生と日本—異文化をとおしての日本理解—」や「日本事情」の授業を通じての異文化理解教育も含まれる。専門基礎教育に関しては、数学・物理・化学の各科目について、入学後工学部の講義を無理なく受講できるように、専門用語の習得および工学部1年生の現行テキストの予習を主眼に行われる。

日程（18週）

10月9日(火) 開講式
 10月10日(水) 日本語診断テスト
 10月12日(金) 授業開始
 10月31日(水) バス旅行
 12月24日(月)～1月11日(金) 冬休み期間
 2月1日(金) 工学部入試のため休講
 2月27日(水) レポート発表会
 2月28日(木) 修了試験
 3月3日(月) 修了式
 3月4日(火) バス旅行（伊賀・上野）

表1. 科目別時間および担当者、内容

科目	コマ数	時間	担当	内容
日本語	13	420	留学生センター教官・謝金講師6名	会話練習・聴解・文法・作文読解
専門科目	3	108	工学部教官・謝金講師3名	物理・数学・化学
日本事情	1	36	留学生センター教官・謝金講師	ビデオ・新聞等
全学教養科目	1	30	留学生センター教官	日本人学生との合同クラス

時間割

	1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15
月	会話・練習 広瀬	教養科目 (留学生と日本) (IB館081)	専門科目 (5-209)	漢字・語彙 東
火	作文 村上	聴解 宮島	専門科目 (5-209)	
水	聴解 広瀬	工学概論 NUPACE (工学部1号館121)	会話・練習 古川	応用会話 古川
木	文法 李	聴解 服部	専門科目 (5-209)	会話・練習 広瀬
金	読解 香川	日本事情 香川	OK聴解 石崎	OL読解・作文 村上

工学部5号館 209番教室

基本テキスト

会話：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ」名古屋大学出版
会

聴解：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ聴解オンライン教
材」名古屋大学 JEMS

読解：「大学・大学院 留学生の日本語 読解編」アル
ク

作文：「留学生のための理論的な文章の書き方」スリー
エーネットワーク

漢字：「KANJI IN CONTEXT 中・上級学習者のた
めの漢字と語彙」The Japan Times

例年通り各自次のようなテーマを選んでレポートを
作成し、2月27日には工学部教員や専門科目担当講師
も招いて発表会を実施した（「タッチパネル」「リニア

モーターカー」「タイムマシン」「新たなエネルギー資
源—メタンハイドレートとバイオマス—」「太陽を創
る：核融合発電」）。工学部教員からは、内容、発表態
度ともに大変よかったと賛辞をもらい、学習者にとっ
て学部入学後の勉学への意欲・自信につながる経験と
なった。

多少漢字の習得が遅い学生が2名いたものの、全体
的に学習者全員たいへんまじめな態度で学習し、欠
席・遅刻もほとんどなく、修了試験では優秀な成績を
修めた。特に何事に対しても物怖じせず積極的に取り
組む姿勢が見られ、コンピュータを使った「オンライ
ン読解・作文」授業では、タスク作文を14回課したが、
自分の意見を明確に筋道を立てて書く作文が多く、例
年以上に高い評価が与えられた。